

# 山行報告書

京都田辺山友会

報告者 藤村

山名	甘南備山臨時講習会	山行名	個人	
ルート	甘南備山芝生公園			
山行日	2024年12月15日	天候	晴れ	
参加者	リーダー：藤村 サブリーダー：若林 小川 米田 廣瀬(典) 永井 多田 田中(深) 田中(み) 森田 阪本 合計：11名			
ルート概略図 甘南備山芝生公園	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	芝生公園	開 終	9:00 11:00	
<p>三上山の事故発生に伴い、急遽甘南備山の芝生公園で、捻挫時の応急対応の講習会を教育部の若林さんの指導の基に実施する。もう少し多くの方の参加があると予想していたが、11名の参加者しかなく残念である。ストックを使用しての簡易松葉杖の作り方、三角巾を使用しての捻挫した足首の固定、骨折した腕の固定方法を学習する。全員スリングで簡易ハーネスを作りロープで下降する訓練もする。</p> <p>皆さまご苦労さまでした。</p>				
ヒヤリハット なし				



## 感想文

多田

今日の講習では、山行に行く時の準備や知識、心構えを改めて教えて頂きました。ストックでの松葉杖の作り方、三角巾の応急処置の仕方、ロープを使った降り方など、役に立つ事ばかりでした。自分一人でも出来るように繰り返し練習したり、役立つグッズをすぐにでも準備したいと思っています

廣瀬(典)

寒い中講習会を開いて頂きありがとうございました。ロープワークは何度聞いてもなかなか覚えられず自宅にでも繰り返し練習しようと思います。今日はストックで松葉杖を作り実際に使用してみると言う事も行いました。教えて頂いた事がいざと言う時に現場で活かされるように常に備品を持参しておこうと思います。

米田

霜が降りる極寒のかんなび広場での緊急講習有り難うございました。山の事故(怪我)は思ってる以上に大変なのだと感じました。ストックとタオルで松葉杖を作ったり三角巾で足首を固定する仕方等々と教えて頂きました。誰かがやってくれるだろうではなく自分がやっていく姿勢が大切なんですね。すぐに忘れてしまうので定期的に講習を受けたいと思います。

## 田中(み)

講習会ありがとうございました。松葉杖作り、三角巾使用方法、足関節固定術、止血方法勉強になりました。いつ何が降りかかるかわからないと、改めて感じます。同時に忘れないようにしなくては！

## 若林

藤村会長より緊急講習会への参加要請を受け、ストックにての松葉杖作りに参加した。K氏の登山時骨折後の直後で、各部の責任者が緊急講習会でもあり、参加者を人選して多くの会員が参加されると思いきや10名(3名のスタッフ含め)のみで、怪我に対する関心度の低さを感じざるを得なかったが、参加者7名の方はK氏の怪我に遭遇された方もおられ、当日、何にも対応できなかった事に対してのジレンマと危機感を感じ参加したとの事で、真剣に取り組んでおられた姿に心強く思えた。2026年度は、我が田辺山友会が労山主催の救急救命の担当に当たる事もあり、10年ほど前に実施時には、1年ほど掛け集中訓練を行ったとの事で、田辺山友会が他の労山会員を指導・教育する立場に成るので、会員の更なる奮起に期待したいものである。今回のレクチャーは松葉杖作り、松葉杖での歩行訓練、三角巾の活用、夫々違った固定法にて3本のロープを張り、滑落者を救済する訓練を行った。今後は今回の訓練を継続する事で、個々のスキルアップが急務であり、会員の更なる奮起に期待したい。

## 阪本

緊急講習会に参加させていただきました。ストックを使った松葉杖の作り方、テーピングの仕方、三角巾を使った応急処置の仕方、滑落者の所までロープで降りる方法等、山初心者の私にとって内容の濃い講習会でした。山は楽しいだけじゃない！！常に危険も伴うとわかってはいましたが、改めて思いました。教えていただいた事、全部覚えられてないですし、まだまだわからない事、知らない事も沢山あります。今後も必要な講習会だと思います。ありがとうございました。

## 田中(深)

ストックで松葉杖の作り方とテーピング方法を習いました。登山の途中の捻挫や怪我、骨折した時はしっかりとその箇所を三角巾又は紐で動かないよう固定して、絶対に力を加えないようにして下山しなければ、痛いのを我慢し無理して足を使ってしまうとその状態がどんどん酷くなってしまいギブスだけで治る怪我が大手術まで進行してしまうと初めて知りました。万が一の時に備えてストックで「簡易松葉杖」を作れるようになったのは日常でも役立つ知識でもあり、今後の登山中の非常時に備えて心強くなりました。貴重な講習を受講できて良かったです。

## 森田

緊急講習会に参加しました。教育部の若林さんより、ストック2本を使っての簡易松葉杖の作り方を教わりました。又、三角巾を使っての腕の吊り方、頭への巻き方、捻挫時の足への使い方を学びました。私にはストックを使って簡易松葉杖が出来るという発想が無かったです。ロープワークも同様ですが、万一の時に使える様に、応急手当ての仕方、簡易松葉杖の作り方を講習会に参加し繰り返し練習して自分のものにする事が大切だと感じました。

## 永井

山行での怪我(捻挫や切傷・擦傷など)に対し可能な限り対処するための講習と思い参加した。日頃より、そのような場面で何が出来るか、救急用品は持参するものの何をを使うか、どう使うかなど解らない事が多い。今回の講習内容は、松葉杖作り・三角巾の活用・滑落者を想定した斜面降下に必要なロープワークだった。ストックを活用した松葉杖作りは、テーピングテープとタオルで組み立て、十分に機能する事が分かった。三角巾は腕を固定するイメージが強かったが、足の捻挫の固定にも役立つ事を知った。その他書き出せばまだまだ多くあるが講習内容を実践に繋げる為に、日々？ 週一でも反復確認する事が必修だと改めて感じている。

